

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和元年11月26日

公表: 令和2年3月23日

事業所名 児童発達支援事業 どんぐり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・ひとつの部屋に集中しないよう個々のスケジュールを工夫している。パーティションで区切り適切なスペースが確保できるよう工夫している。	・自由あそびの部屋に集中してしまうことがあるため、より個々のスケジュールの組み方を工夫し、改善していく。
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・目的ごとにスペースを分けたり、同じ場所でも机の向きを変えたり、場所が変わったことがわかりやすいように工夫している。室内はクッション材を用いて段差をなくすよう工夫している。	・トイレや玄関のバリアフリー化が課題。現在は必要に応じて職員や保護者が介助し、安全に運営できるよう配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・活動室とあそぶ場所を分けている。活動にに合わせて空間づくりができるようパーティションなども使用して工夫している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・意向を職員間に周知し、業務改善につなげている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・ホームページで公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・法人主催の勉強会、内部研修、外部研修などに参加し、職員の資質の向上に努めている。	
適切な支援の提...	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・保護者にアンケートを記入していただきニーズや課題を共通理解し作成している。また子どもの興味関心も取り入れている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・必要に応じて臨床発達心理士が発達検査や知能検査をとり、その結果を活用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・打ち合わせで児童発達支援計画を職員間で確認している。また事業所独自の評価シートを用意し、毎回保護者が計画を記入し、計画を意識して参加できるよう工夫している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員にアンケートを取り話し合って決めている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・静と動の活動を交互に取り入れたり、季節を意識したりして工夫をしている。また、あえて同じ活動を取り入れて、繰り返し行う経験を積むことができるように工夫している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
供	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・打ち合わせは児童発達支援計画や前回の記録を用いて行っている。特に留意すべき点などについては職員伝達事項の欄を作り、確認しやすいように工夫している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	○		・振り返りを行い、気づいた点を記録に残し、次の支援開始前に活用できるようにしている。記録しやすいように該当するものを○で囲むようなどに工夫している。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・職員がとる記録の他、保護者にも記録をとっていただき、より充実した支援を提供することができるよう工夫している。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・保護者支援も重視し、毎回短時間だが面談を実施している。その中で定期的なモニタリング以外でも必要に応じて計画の達成度を確認して判断している。	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			対象児がいない	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			対象児がいない	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・必要に応じて小学校へ訪問したり、就学相談へ同行したりしている。保護者には小学校に向けて支援シートや『かけはし』の作成についての支援を行っている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・幼稚園等の職員の見学を受け入れたり、こちらから職員が訪問したりして情報交換を行っている。	・利用している子どもは保育所などと併行して通っているため、日頃から障害がいのない子どもと関わっている。よってこのような機会を充分得ていると判断している。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	・現在は法人内の他の事業所の職員が参加している。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・毎回支援中に保護者と面談する機会を設け、情報交換をして共通理解に努めている。お便り帳も活用している。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○		・ペアレントトレーニングは法人で主催している。その他勉強会(地域生活支援公開講座など)を実施し、保護者の対応力の向上を図っている。	
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に契約書、重要事項説明書を用いて説明している。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・毎回支援中に保護者と面談する時間を設け、相談に応じ、支援の方法を一緒に考えている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・懇談会を実施している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・いつでも相談を申し入れることができるように、児童発達支援計画に事業所内相談支援について記載している。また電話相談にも応じている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・月の予定表に必要な情報を載せて発信している。会報については法人で発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・個人情報の提供について契約時に保護者に同意を得て取り扱いに注意している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・視覚的に提示、肯定的に伝えるなど個々に配慮している。保護者から話を伺うときは子どもに聞こえないよう配慮している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・法人主催で松風園まつりを実施し、地域との交流を図っている。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・マニュアルは見えるところに設置し、いつでも確認できるようにしている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・年1回グループの時間内に子どもと保護者も参加する避難訓練を実施している。月1回グループを想定して職員間で避難訓練を実施している。年1回法人主催で職員緊急招集訓練を実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・確認している。親子グループのため、急な体調不良にも保護者と一緒に対応できる状況にある。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・医師の指示書の提出はないが事前に保護者に食物アレルギーの確認をし、提供しないようにしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・主に業務日誌の所定の欄に記載し、職員間に周知している。また再発防止についても職員で共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・契約時に説明して同意を得ている。児童発達支援計画には記載していない。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和元年3月23日

アンケート期間: 令和元年7月1日～令和元年7月31日

事業所名 児童発達支援事業 どんぐり

保護者等数(児童数) 36 回収数 34 割合 94 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	3	1		・机で行う作業時は広すぎず良いと思います。体を使ったあそびのときは少し狭いかなと思います。	体を使ったあそびのときは机を片付けるなどし、できるだけ広く使えるよう配慮する。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	32	2			・人数は適切。専門的なことをよく教えてもらっていると思います。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	31	2	1			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	31	3			・おやつの際は、テーブルをアルコールで拭いてほしい。 ・トイレの清潔が少し劣っている。	・消毒液で拭くことを職員間に周知し対応。トイレは毎朝掃除している。より衛生面に留意していく。
適切な 支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	29	5			・子の様子に合わせて親から意見を取り入れつつ、計画を作成してもらっています。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	29	2		3		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	32	1		1		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	29	4		1	・前回と同じことを行うことでできるという自信につながっているように感じます。 ・同じプログラムを何回かしていることがある。	あえて活動を取り入れて繰り返し行う経験を積むことができるようにしていることを保護者に周知していく。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	13	6	9	6	・そういう機会があればいいと思う。 ・保育園に通っている中で機会はある。	・保育園や幼稚園などでこのような機会を充分得ていると判断しこのような機会を作っていないことを保護者に周知していく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	33			1		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	29			5		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	25	5		4	・面談の中で家庭での接し方等についてアドバイスいただいています。	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	33	1			・毎回、面談の時間を取り入れてくれることで、日々の悩みや不安なども解消され親自身が子どもにちゃんと向き合えるようになってきていると思います。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	34				・毎回、子どもの育児相談にのって頂き、適切なアドバイスをもらっています。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	26	5	1	2	・懇談会を月1回開催してほしい。 ・お茶会みたいな保護者同士が気軽に相談し合える場がほしい。	保護者のご意見を踏まえ昨年度の年間4回を5回に増やして対応。今後も回数を増やすことを検討していきたい。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	33	1				
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	33	1				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	27	3	1	3		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	34					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	26	4	3	1		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	4	4	2	・定期的に訓練をしてほしい。	職員は月1回、子どもや保護者は年1回避難訓練を実施。定期的に行えるよう計画していきたい。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	32	2			・子どもが「明日はどんぐりの日だね」と楽しみにしています。 ・カレンダーを見ながらいつが通所の日なのか確認するとともに、どんなおもちゃで自由あそびの時間を過ごそうか考えています。	
	23	事業所の支援に満足しているか	28	6			・とても満足しています。 ・心の支えになっていただいております。ありがとうございます。 ・もう少し療育時間があれば嬉しいです。	1時間半の療育をより充実して提供できるように保護者のニーズや子どもの様子を確認しながら取り組んでいきたい。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 元 年 11 月 26 日

公表:令和2年3月23日

事業所名 児童発達支援事業 どんぐり

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			必要に応じてパーティションで区切り適切なスペースを確保できるように工夫をしている。
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		室内をクッション材を用いて段差をなくすよう工夫をしている。トイレや玄関などのバリアフリー化は課題。人手を確保して安全に運営できるよう配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者向けの評価表に懇談会希望の意向が多くあり、実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			法人主催の勉強会、内部研修会、外部研修会などに参加し、職員の資質向上に努めている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			保護者にアンケートを記入いただきニーズや課題を共通理解し、作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			必要に応じて、臨床発達心理士が発達検査や知能検査をとり、その結果を活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			職員にアンケートをとり話し合っている。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			年間計画を作成し、調理、制作、外出、運動、ゲーム、季節を意識した活動で組み立てている。あえて同じ活動を取り入れてくり返し行う経験を積んだり、新しい活動にもわかって取り組む経験を重ねることができるよう、やることを視覚的に提示したりして支援している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		土曜日は平日通所できない小、中学生のために開所している。長期休暇に応じた対応は年間回数を決めて行っている関係上、難しい状況。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			放課後等デイサービス計画や前回の記録を用いて打ち合わせを行っている。記録用紙に「次回に向けて」という欄を作り、確認しやすいよう工夫している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている		○		必要に応じて個々のケースについて学校との情報共有はしているが、保護者が送迎しているため、下校時刻の確認等については学校には行う必要がないことが現状。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			現状は医療的ケアについては保護者が対応するようになっているが、支援が1時間半のため、医療的ケアの対応なく行えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			必要に応じて行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現在移行のケースが発生していない。 発生した場合は必要に応じて連携を取っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		交流や一緒に活動する機会は設けていないが地域生活への参加を見据えて日々支援にあたっている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		現在は法人内の他の事業所の職員が参加している。 自立支援協議会主催の研修には積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時や面談にて情報交換し共通理解に努めている。
保	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			ペアレントトレーニングは法人で主催している。その他、勉強会(地域生活支援公開講座など)を実施し、保護者の対応力の向上を図っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に契約書、重要事項説明書を用いて説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			送迎時に保護者と情報交換し、悩みや困り感を共有。必要に応じて面談を実施している。また電話相談も受けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			懇談会を実施している。(小学生グループ対象)法人主催でお父さん対象の懇談会も実施している。懇談会の回数を増やすことを今後検討していきたい。

護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			活動概要は年間予定表で伝えている。行事(松風園まつり)や勉強会(各種講座)については随時お知らせを配布している。会報については法人で発行している。
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報の提供について契約時に保護者の同意を得て取り扱いに注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			視覚的に提示、肯定的に伝えるなど個々に配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			法人主催で松風園まつりを実施し、地域との交流を図っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			マニュアルは見えるところに設置し、いつでも確認できるようにしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年1回グループの時間内に子どもが参加する避難訓練を実施している。月1回グループを想定して職員間で避難訓練を実施している。年1回法人主催で職員緊急招集訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			契約時に説明して同意を得ている。放課後等デイサービス計画には記載していない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			医師の指示書の提出はないが、事前に保護者に食物アレルギーの確認をし、提供しないようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			主に業務日誌の所定欄に記載し、職員間に周知している。また再発防止についても職員で共有している。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表) 令和元年度

公表: 令和2年3月23日

アンケート期間: 令和元年6月8日～令和元年7月5日

事業所名 児童発達支援事業 どんぐり

保護者等数(児童数)150 回収数99 割合66%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	記入無し 等	主なご意見(抜粋)
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	91	8			・子どもたちが落ち着ける環境を作ってくださって有難い。 ・もっと体を動かせるようなスペースがあったらいいと思う。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	93	1		5	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	72	24	3		
適切な 支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	97	2			・保護者の話を丁寧に聞き計画していただいている。 ・個々に合わせてとても丁寧に対応してくださいます。
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	91	7	1		・様々な活動があり多様化している。 ・繰り返しの活動の中でも毎年バージョンアップしてすごいと思う。 ・学年が上がるにつれてステップアップがほしい。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17	44	37	1	・必要ないと思う。 ・学校で十分に交流しているのでどんぐりでは支援に特化してほしい。
保護者への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	99				・最初の段階で十分な説明がなされている。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	96	2		1	・月1のデイサービスとして以上に理解を示し助言を受けている。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	99				・要望に応じて面談をしていただけるので有難い。 ・イレギュラーでも相談すれば必ず時間を作ってくれる。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	80	14	5		・保護者も一緒に活動に参加する日が年1回でもあっても良いのではないかな。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	86	13			・苦情を伝えたことがないのでわからない。 ・苦情を出したくなるような場面に出会ったことがないので、今後もそうだと良い。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	94	4		1	

	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	81	17	2	・ホームページを見る機会があまりないのでどちらともいえない。
	14	個人情報に十分注意しているか	98	1		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	87	12		・説明を受けている。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	74	22	3	・災害などが心配なので訓練などは必要だと思う。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	93	6		・待ちきれないくらい楽しみにしている。 ・自分の居場所のひとつとして確立しているようで本当に有難い。 ・どんぐりクラブもとても楽しい企画だと思う。
	18	事業所の支援に満足しているか	95	4		・非常に親切に対応していただき、親子ともども満足している。 ・療育に適したプログラムが多いので今後も期待したい。 ・月1回では少ない。週1回が理想。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。